

## 科学研究費助成事業 研究成果報告書

平成 29 年 5 月 23 日現在

機関番号：32689

研究種目：基盤研究(B) (一般)

研究期間：2012～2016

課題番号：24320052

研究課題名(和文) 享保以降義太夫節浄瑠璃作品のデジタル・アーカイブ化に向けての研究

研究課題名(英文) Research for Converting Post-Kyoho (1716-1736) Gidayu-Bushi Joruri Texts into Digital Archives

研究代表者

鳥越 文蔵 (Torigoe, Bunzo)

早稲田大学・坪内博士記念演劇博物館・名誉教授

研究者番号：60063509

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 13,100,000円

研究成果の概要(和文)：享保から宝暦年間(1716～1764)に初演された人形浄瑠璃作品について、良質なテキストを提供し、国内外の演劇研究に貢献するため、翻刻本文の確定、書誌調査、諸本校合を行い、『浄瑠璃未翻刻作品集』(玉川大学出版部)として第三期10作品、第四期10作品に「凡例・解題・梗概・校異」「享保期興行年表」付して公刊した。

また、近世語資料としての活用を目指し、品詞、活用などのタグ付けを行い、『信州姨捨山』『赤沢山伊東伝記』の2作品の自立語語彙索引を刊行した。さらに、詞章と音曲との関係を明らかにするために、文字譜位置の確認などを行い、文字譜索引作成の準備をした。

研究成果の概要(英文)：Our project was to provide quality texts of joruri plays from the Kyoho to Horeki periods (1716-1764) to contribute to domestic and international theatrical research. We selected the versions of manuscripts to reprint, conducted research on texts, and compared and collated various manuscripts. We published ten texts each for the third and fourth series of The Collection of Never-Before-Reprinted Joruri Texts from Tamagawa University Press, with detailed notes and performance records.

In addition, in order to make joruri texts usable as research materials of early modern language, we tagged word class, conjugation, etc., for several texts from the first series of The Collection, and published vocabulary indices for independent words for two joruri texts, Mt. Obasute in Shinshu and Mt. Akazawa and the Tale of Ito. Moreover, in order to clarify the relationship between music and lyrics, we studied the location of musical notations, and prepared to make indices for musical notations.

研究分野：演劇研究

キーワード：人形浄瑠璃文楽 義太夫節 近世語索引 文字譜 並木宗輔 正本翻刻

## 1. 研究開始当初の背景

人形浄瑠璃文楽は、2003年にユネスコの「人類の口承及び無形遺産の傑作の宣言」を受け、世界無形文化遺産に採択された。人形浄瑠璃文楽は、国内外から日本を代表する伝統芸能として注目されている。しかし、その基礎的な資料整備が十分に行われているとは言いがたい状況が長く続いていた。それには、未翻刻作品の解消が急務である。浄瑠璃本(義太夫節人形浄瑠璃の初演作品)は630作品が残り、この内、翻刻されたものは55%、未翻刻のもの45%である。この資料整備・翻刻紹介を行うことによって、当該分野の研究の進展が期待されるのである。

研究代表者は、平成10年より「義太夫節正本研究会」を発足し、平成23年まで78回の研究会を重ね、全国の諸本書誌調査、底本とすべき初版本の選定、正本影印の作成及び収集、翻刻方法の研究を行った。この間、科学研究費補助金(基盤研究B(1))「未翻刻浄瑠璃正本の網羅的調査・翻刻による浄瑠璃の基礎研究」(平成13年~16年)、科学研究費補助金(基盤研究B)「未翻刻浄瑠璃本の網羅的調査・翻刻と複次的活用・公開に向けての基礎的研究」(平成20年~23年)を受けて研究を続けてきた。

その成果について、玉川大学出版部のご理解を得て、平成18年5月より平成19年11月まで12作品、平成22年度には科学研究費研究成果促進費の交付を受けてさらに10作品、合計22作品の刊行が実現した。先に記したように、未翻刻作品は200作品余りあるが、基礎研究と作業を経た上での成果は数パーセントに過ぎない。

## 2. 研究の目的

享保から宝暦年間(1716~1764)に初演された人形浄瑠璃作品は、現在、古典芸能として文楽で頻りに上演される演目の大方を含んでおり、同時に歌舞伎でも義太夫狂言として盛んに上演されている演目も多数存在する。

国内外の日本文学研究者や古典芸能の専門家(人形浄瑠璃文楽の技芸員や劇場関係者)への学術的貢献はもとより、当該分野に関心をもつ観客・読者へも良質なテキストを提供し、国内外の演劇研究の進展に貢献することを目的とする。

何よりも、作品を容易に網羅的に読むことができる環境作りが急務である。しかも、翻刻活字化するにあたっては、底本を初版本とするのが望ましく、同時に諸本の校合が重要である。

これらの基礎研究と作業のもとに制作された浄瑠璃正本の翻刻を継続的に行い、翻刻作業によって蓄積したテキストをより広く活用するために、データに品詞、意味などの情報を付加する作業を行い、デジタル・アーカイブ化を目指す。

## 3. 研究の方法

人形浄瑠璃研究の進展にとって、第一に資料の整備が極めて重要である。それについては、以下の3点の事業を遂行する。

### (1) 書誌調査、翻刻作業・公開の一層の進展

未翻刻浄瑠璃作品の書誌調査のうえ、翻刻とその電子入力による本文作成を行なう。浄瑠璃本文学の網羅的横断的本文データベースを作成する。翻刻に際しては、初版であったかつ初刷とみられる善本を底本とすることを目指し、かつ正確な翻刻本文を作成するために、諸本調査を踏まえ、1作品につき最低3点の複製を準備する。

### (2) 蓄積したテキストデータの活用に向けての研究

#### 語彙索引作成へ向けての研究

翻刻完了作品の語彙索引の作成を行う。近松以降の近世上方語研究に資するために、既に翻刻した20作品についても個別にタグ付け作業を行いながら、語彙認定作業を行い、索引作成を目指す。

#### 文字譜索引の作成に向けての研究

浄瑠璃の音楽構造の解明と、演劇的効果の関係についての基礎的な資料となる音高のみの文字譜を除いた曲節索引を作成することを目指す。どのような索引が有効かを検討し、享保期以降浄瑠璃作品全体の索引を構築する。

### (3) デジタル・アーカイブとしての活用に向けての検討

浄瑠璃本文学の網羅的横断的本文データベースの作成を行い、デジタル・アーカイブとしての公開に向けての準備を行う。

## 4. 研究成果

### (1) 書誌調査、翻刻作業の進展

翻刻による確実なテキストを完成するため、底本のほかに利用価値が高いことが判明した10行本、および副本についても十分に調査を行い、校訂作業を行った。各作品の担当者が、それぞれ原本調査を行うとともに、研究会を開き検討し、本文確定を進めた。

成24年度には、「義太夫節浄瑠璃未翻刻作品集成」第三期として『尼御台由比浜出』『蒲冠者藤戸合戦』『本朝檀特山』『車還合戦檄』『曾我昔見台』『元日金歳越』『万屋助六二代帯』『丹州爺打栗』『傾城枕軍談』『一谷嫩軍記』の10作品について、平成26年度には、同第四期として『待賢門夜軍』『苺萱桑門築紫』『今様東二色』『釜淵双級巴』『丹生山田青海劔』『田村磨鈴鹿合戦』『花衣いろは縁起』『百合稚高麗軍記』『石橋山鎧襲』『いろは日蓮記』の10作品について、翻刻本文の確定、書誌の最終確認、諸本校合を行ったうえで刊行を行った。

### (2) 蓄積したテキストデータの活用

これまでの研究で翻刻の完了した作品の構築データベースの公開と活用としては以

下の二点について作業を進めた。

### 日本語資料としての活用

言語研究班では、近世語の新たなデータベースを構築するために『信州姨捨山』『赤沢山伊東伝記』の自立語索引を刊行した。特に後者については、これまで索引がなかった並木宗輔の初の自立語索引であり、竹本座と豊竹座の脚本に使われることばの相違など、今後の語彙研究に資するものとなった。

また、引き続き現行曲を中心とした語彙索引作成のための品詞確認などを進めることができた。

### 文字譜索引作成に向けての基礎研究

翻刻作品についての文字譜索引を構築し、義太夫節の音曲面での研究を進めるために、文字譜索引作成のための翻刻本文のデータ確認の作業を行うことができた。

#### 5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕(計 32 件)

- 田草川みずき、人形浄瑠璃史研究における「絵画」の資料的可能性をめぐって、楽劇学、査読無、23号、2016、89-98
- 坂本清恵、長唄のアクセント「鶴亀」を例に、論集、査読無、11号、2016、134-154
- [http://www.f.waseda.jp/uenok/ronshu/ronshu\\_11\\_sakamoto.pdf](http://www.f.waseda.jp/uenok/ronshu/ronshu_11_sakamoto.pdf)
- 鳥越文蔵、The 30<sup>th</sup> Anniversary of Foundation of the Folkloric Arts Society : Looking the Days the Society was founded、民族芸能研究、査読無、59号、2015、1-3
- 坂本清恵、人形浄瑠璃にみる江戸時代の音声、日本語学、査読無、34-10号、2015、10-20
- 坂本清恵、謡の連声、能と狂言、査読有、13号、2015 55-77
- 田草川みずき、浄瑠璃正本における平家考 文字譜 平家の撮取と変遷をめぐって、文化現象としての源平盛衰、査読無、2015、513-539
- 黒石陽子、「双ノ丘 金売橘次分別袋」について、叢、査読無、35号、2014、1-33
- 飯島満、孤絶：忠臣蔵六段目、文芸研究、査読無、123号、2014、93-102
- 田草川みずき、女流義太夫の資料保存をめぐって：豊竹駒之助関係資料を一例に、楽劇学、査読有、21号、2014、1-14
- 田草川みずき、宇治加賀掾段物集における謡曲本文の浄瑠璃化について：理論と実践、かざし詞など、神戸女子大学古典芸能研究センター紀要、査読無、8号、2014、40-58
- 原田真澄、朝鮮軍記浄瑠璃作品における武将・小西行長像、アジア遊学、査読無、173号、2014、68-83
- 内山美樹子、演劇季評 平成二十四年上

半期の文楽、歌舞伎：研究と批評、査読無、50号、2013、127-146

- 黒石陽子、享保期の曾我物浄瑠璃 次世代作者への近松の影響、國學院雑誌、査読無、114巻11号、2013、490-505
- 鳥越文蔵、近松研究の限界、神戸女子大学古典芸能研究センター紀要、査読無、7号、2013、1-5
- 内山美樹子、人形浄瑠璃文楽の通し上演、藝能史研究、査読無、201号、2013、15-16
- 坂本清恵、近世期における「つめる・のむ」 四つ仮名、舌内入声音、連声の注記をめぐって、論集、査読無、9号、2013、20-36
- [http://www.f.waseda.jp/uenok/ronshu/ronshu\\_09\\_sakamoto.pdf](http://www.f.waseda.jp/uenok/ronshu/ronshu_09_sakamoto.pdf)
- 内山美樹子、時を超えて出会う 語り物の舞台(文楽鑑賞へのいざない)、伝統と文化、査読無、36号、2012、4-5
- 内山美樹子、古典演劇文楽の大志を、上方芸能、査読無、184号、2012、32
- 黒石陽子、古浄瑠璃『石ばし山』の特色 頼朝天下掌握の描き方、東京学芸大学紀要 人文社会科学系、査読無、64号、2013、79-88
- 飯島満、国立音楽大学附属図書館寄贈 竹内道敬旧蔵音盤目録(5)、無形文化遺産研究報告、査読無、7号、2013、113-160

②坂本清恵、文楽における連声、国文目白、査読無、52号、2013、41-53

〔学会発表〕(計 10 件)

- 坂本清恵、近世邦楽のアクセント、東京文化財研究所無形文化部第 10 回公開講座「邦楽の旋律とアクセント、2015 年 12 月 18 日、東京文化財研究所
- 原田真澄、The difference between the popularity of Eastern and Western Bunraku theatre、IFTR 2015 Conference、2015 年 7 月 1 日、University of Hyderabad、India
- 田草川みずき、人形浄瑠璃史研究における絵画資料の可能性について、楽劇学会第 23 回大会「絵画から見る楽劇史」、2015 年 6 月 28 日、国立能楽堂
- 内山美樹子、「国性爺合戦」楼門の段(現行曲)をめぐって、近松の会、2015 年 6 月 26 日、早稲田大学文学学術院
- 田草川みずき、宇治加賀掾の芸論史における「八九杖」「序八曲と宝永三年正月 語初」をめぐって、藝能史研究會大会、2014 年 6 月 1 日、同志社女子大学
- 坂本清恵、謡における特殊音節について、能楽学会大会、2014 年 6 月 22 日、早稲田大学
- 原田真澄、「祇園祭礼信仰記」考 人形浄瑠璃における秀吉像をめぐって、日本近世文学学会平成 27 年度春季大会、2015 年 5 月 31 日、東京芸術大学

飯島満、視聴覚資料の保存・第4回レコード、日本図書館協会資料保存委員会資料保存セミナー、2013年1月18日、日本図書館協会研究室

飯島満、東京文化財研究所所蔵アナログ音声資料 そのメディア転換をめぐる、東京文化財研究所総合研究会、2012年11月

内山美樹子、楽劇と楽劇学の現状を考える 能・狂言・文楽・歌舞伎、楽劇学会、2012年7月22日、国立能楽堂大会議室

〔図書〕(計24件)

- 上野左絵・坂本清恵、義太夫節正本刊行会言語研究班、「赤沢山伊東伝記」自立語索引、2017、295
- 飯島満、東京文化財研究所、[資料紹介]七代目豊沢広助『義太夫の種類と曲節』、2016、39
- 鳥越文蔵監修・山之内英明担当、玉川大学出版部、待賢門夜軍、2015、133
- 鳥越文蔵監修・川口節子担当、玉川大学出版部、苅萱桑門築紫、2015、134
- 鳥越文蔵監修・東晴美担当、玉川大学出版部、今様東二色、2015、111
- 鳥越文蔵監修・桜井弘担当、玉川大学出版部、釜淵双級巴、2015、93
- 鳥越文蔵監修・飯島満担当、玉川大学出版部、丹生山田青海剣、2015、135
- 鳥越文蔵監修・田草川みずき担当、玉川大学出版部、田村磨鈴鹿合戦、2015、143
- 鳥越文蔵監修・洲田裕介担当、玉川大学出版部、花衣いろは縁起、2015、154
- 鳥越文蔵監修・原田真澄担当、百合稚高麗軍記、2015、151
- 鳥越文蔵監修・黒石陽子担当、玉川大学出版部、石橋山鎧襲、2015、154
- 鳥越文蔵監修・坂本清恵担当、玉川大学出版部、いろは日蓮記、2015、128
- 内山美樹子、三原市立図書館、日本のシェークスピア 並木宗輔と三原、2014、26
- 鳥越文蔵監修・黒石陽子担当、玉川大学出版部、蒲冠者藤戸合戦、2013、149
- 鳥越文蔵監修・東晴美担当、玉川大学出版部、本朝檀特山、2013、142
- 鳥越文蔵監修・飯島満担当、玉川大学出版部、車還合戦桜、2013、142
- 鳥越文蔵監修・田草川みずき担当、玉川大学出版部、曾我昔見台、2013、115
- 鳥越文蔵監修・上野左絵担当、玉川大学出版部、元日金歳越、2013、99
- 鳥越文蔵監修・佐藤麻衣子担当、玉川大学出版部、万屋助六二代結、2013、99
- 鳥越文蔵監修・洲田裕介担当、玉川大学出版部、丹州爺打栗、2013、149
- ②1 鳥越文蔵監修・原田真澄担当、玉川大学出版部、傾城枕軍談、2013、135
- ②2 鳥越文蔵監修・伊藤りさ担当、玉川大学出

版部、一谷嫩軍記、2013、151

②3 早稲田大学演劇博物館編・鳥越文蔵・内山美樹子、八木書店、大学文化資源の情報発信 演博改革の10年 鳥越館長の時代、2013、343

②4 上野左絵・坂本清恵・佐藤麻衣子編、義太夫節正本刊行会言語研究班、『信州姨捨山』自立語語彙索引、2013 333

6. 研究組織

(1) 研究代表者

鳥越 文蔵 (TORIGOE BUNZO)

早稲田大学・演劇博物館・名誉教授

研究者番号：60063509

(2) 研究分担者

内山 美樹子 (UCHIYAMA MIKIKO)

早稲田大学・名誉教授

研究者番号：30063704

飯島 満 (IIJIMA MITSURU)

東京文化財研究所・無形文化遺産部音声映像記録研究室・室長

研究者番号：90392547

黒石 陽子 (KUROISHI YOKO)

東京学芸大学・教育学部・教授

研究者番号：40247268

坂本 清恵 (SAKAMOTO KIYOE)

日本女子大学・文学部・教授

研究者番号：50169588

田草川 みずき (TAKUSAGAWA MIZUKI)

日本女子大学・文学部・学術研究員

研究者番号：10367097

原田 真澄 (HARADA MASUMI)

日本女子大学・文学部・学術研究員

研究者番号：40580444

(3) 連携研究者 なし

(4) 研究協力者

伊藤 りさ (ITO RISA)

国立国会図書館・参事

上野 左絵 (UENO SAE)

日本女子大学・文学部・学術研究員

川口 節子 (KAWAGUCHI SETSUKO)

早稲田大学・演劇博物館・招聘研究員

桜井 弘 (SAKURAI HIROSHI)

国立能楽堂・部長

富澤 美智子 (TOMIZAWA MICHIKO)

調布市立第三中学校・教諭

東 晴美 (HIGASHI HARUMI)

日本女子大学・文学部・学術研究員

洲田 裕介 (FUCHITA YUSUKE)

国立劇場制作部・伝統芸能課

森 貴志 (MORI TAKASHI)

相模女子大学・非常勤講師

山之内 英明 (YAMAOUCHI HIDEAKI)

開智学院高等部・専任教諭

